

科目番号：AE13H43

科目名：日本文化研究実習Ⅰ

担当教員：葛西太一

成績評価方法：①授業内容の理解度と実技の習得度 90%、②事後レポート 10%

成績評価基準：

	A+ (90点以上)	A (80~89点)	B (70~79点)	C (60~69点)	D (60点未満)
①-1 授業内容の理解度 (40%)	茶の湯の歴史を学び、実践する一つ一つの点前や作法の意義を的確に理解したうえで、実習に取り組むことができる。	茶の湯の歴史を学び、基本的な点前や作法の意義を理解したうえで、実習に取り組むことができる。	茶の湯の歴史を学び、基本的な点前や作法の意義を理解することができる。	茶の湯の歴史を学んではいるが、点前や作法の意義に対する理解が不十分である。	茶の湯の歴史および点前や作法の意義に対する理解が不十分である。
①-2 実技の習得度 (50%)	実習に積極的な姿勢を示し、茶の湯の正確な知識に基づいた、諸外国でも実践可能な実技を習得している。	実習に積極的な姿勢を示し、茶の湯の正確な知識に基づいた実技を習得している。	実習への参加を通して、茶の湯の基本的な実技を習得している。	実習に参加してはいるが、茶の湯の基本的な実技の習得が不十分である。	実習への参加姿勢が消極的であり、茶の湯の基本的な実技が習得できていない。
② 事後レポート (10%)	実習の報告書として客観的かつ丁寧な記述がなされ、実践的な取り組みを踏まえた茶の湯文化の意義が明確に理解できている。	実習の報告書として客観的な記述がなされ、実践的な取り組みを踏まえた茶の湯文化の意義が理解できている。	実習の報告書として基本的な記述がなされ、茶の湯文化の意義が理解できている。	実習の報告書として内容が不十分だが、一定の茶の湯文化の意義が理解できている。	実習の報告書として内容が不十分であり、茶の湯文化の意義が理解できていない。